臺灣日日新報 第一方千四百七十一號 昭和十四年三月十九日（日曜日）（第二版）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）

臺灣新民報 夕刊 三月十八日 夕刊定價一部二錢

總動員法 第十九條發動

物價政策強化の為め

【東京十八日發同盟】戰時低物價政策の强行と物價取締の强化を期するため總動員法第十九條の發動を決定したが、勅令案は修正する必要が生じた旨次の如く言明した

歐洲政局の最近の變化に對處するため去る一月四日の一般豫算に基き今回議會中に現行中立法を修正することが必要になつた

【東京十八日發同盟】戰時低物價政策の强行は物資の統制强化と言論機關の円滑なる實施を期するため時局に對應して積極的に物價水準を低下せしめる爲には最良從來の如く輸出入品等臨時價格措置に基く物價調整取締規則及び暴利取締令では不確實を期し得ない情勢となつて來たので政府は企畫院を中心に關係各省と協議の結果、愈と今後の物價政策の强化を圖るため總動員法第十九條を發動することを決定するに至つた、即ち政府は六日の中央物價小委員會席上其の具體案を提示して右決定發動の決意を明確ならしめるとともに物價取締上今後一層その徹底を期する爲め從來の物價取締令の强化改正に關しては今議會に提出の間に合はぬので同法の運用に依つて低物價政策の貫徹を期することとなつた、尙は同法發動の要綱は左の如くである

第八條も發動か

第十九條と前後して

【東京十八日發同盟】海州陷落に依り東隴海線の視察を失つた國民政府に殘された唯一の抗日ラインたる西北各戰色ルート一帶に於ても第二回攻勢が擧起し反撥反攻激戰は俄然重大化するに至つた、即ち蔣夏參謀長馬鴻逵は第八軍司令官の命を受け回民を主體とし騎兵を以て編成された一萬五千の回民騎兵を率ゐ寧夏省主席

文化費を注ぎ込み 支那民衆を救濟

興亞院の費用一千五百萬圓 農業改善や惡疫掃滅

【東京十八日發同盟】興亞の文化的使命となる緊急な分に鑑み込んだ興亞院經費の興亞文化費一千五百万円は昨日衆議院で滿場一致の協賛を經て成立したが、その內訳は

注目

されてゐるのは同亡費の事業費約八百万円、東亞同文書院の經費百万円、東亞研究所の經費百万円、滿鐵中央試驗所の經費百万円、滿鐵北支經濟調査所の經費百万円、滿鐵上海事務所の經費百万円、滿鐵調査部の經費百万円、滿鐵北支經濟調査所の經費百万円、滿鐵上海事務所の經費百万円、滿鐵調査部の經費百万円である

同じ費の興亞院の下に行はれてゐる支文化事業部の下に行はれてゐるべき經濟的研究をなす同文學の經費は今回最初計畫するものであるが、次に北京に設立される華北交通會社の經費は約二百万円となつてゐるが、事業の內容は

昇格

せしめ校舍の擴張等に依つて數百名の學生を收容する程度に擴充し、更に北京に新設

臺北高校 尋常科の入試問題（二）

國語

第二日（六十分）

一、次ノ語句ノ意味ヲ考ヘ、又コレラ用ヒテ短文ヲ一ツヅツ作レ（何ヲ以テ手ヲカまれる　短文一

1　音読一　目の上のこぶ　短文一

2　音読一　立板に水を流すやう　短文一

3　音読一　雲霞の如き　短文一

4　音読一　ほんの喰の間　短文一

5

次ノ文ヲ讀ンデ、下ノ問ニ答ヘナサイ。

「歴史ヲ、原始ヲ、古代ヲ、ソシテ現代ヲ、ソノ何レヲ問ハズ、ソノ何レヲ通ジテモ、人間ノ生活ヲ、ソノ社會ヲ、ソノ國家ヲ、ソノ文化ヲ、ソノ何レヲ取ツテ見テモ、ソコニ流レテヰルモノハ、ソレハ、ソレハ、ソレ

開花三世相

村松梢風作
(129)
中一彌畫

毒の雨(一)

今日も終日雨だつた。

醫學博士が手紙を待つてやつて來て、

「わつち共は本所の猿雲區の古い者でございますが、實は昨日の夕方のお便りで參りました」

とだつた。お藤は手紙を開封いて讀むと、民次郎の筆跡で、

急ぎ認め申候、我拳こと大切の相談有之、三日間程仕らず候間、早速此の乘物にて御越し下さるべく候

民次郎より

醫學博士へ

と書いてある。

醫學博士に會つて、

「お町さん達は皆の旦那樣から直に此の手紙を受け取つて來たんですか？」

「ヘイ、左樣でございます。御新造樣に渡してくれと旦那樣が仰しやいました」

「旦那樣の在らつしやる處は何處ですか？」

やがて人が來る氣配だからやれ嬉しやと思つてゐると襖をサラリと開けて入つて來たのは民次郎との思ひの外、猿橋吉右衛門だつた。

猿橋は直ぐ側へ來て坐つた。猿橋はブン〳〵酒氣を帶はせてゐる。

「まあ猿橋さん、あなたも座敷にいらつしやつたんですか」

「此處は我々の寄合所でしてな。併し、遠方から態々お出で下さつて恐縮でしたな。おまけに雨は降つてゐるし、婦人の夜道は物騷千萬、お藤さん、あんたは大層な御氣張でござるのう。アハハハ」

やがて人が來る氣配だからやれ嬉しやと思つてゐると襖をサラリと開けて入つて來たのは民次郎との思ひの外、猿橋吉右衛門だつた。

猿橋は直ぐ側へ來て坐つた。猿橋はブン〳〵酒氣を帶はせてゐる。

「まあ猿橋さん、あなたも座敷にいらつしやつたんですか」

「此處は我々の寄合所でしてな。おまけに雨は降つてゐるし、婦人の夜道は物騷千萬、お藤さん、あんたは大層な御氣張でござるのう。アハハハ」

とさつて案内の男は行つてしまつた。

座敷の眞中に緋毛氈の敷臺が置いてある。寒し暑いのに雨戸も閉て切つて閉めてあるので、ひどく空氣が臭い。家の中は靜寂として人の聲もしたい。

どうしたのか民次郎はさつぱり姿を見せない。お藤はジリ〳〵して來た。胸が天井を衝き始める。不氣味でもあるし、何んとなく不安になつて來た。

機はブン〳〵酒氣を帶はせてゐる。猿橋は直ぐ側へ來て坐つた。

「まあ猿橋さん、あなたも座敷にいらつしやつたんですか」

「此處は我々の寄合所でしてな。おまけに雨は降つてゐるし、婦人の夜道は物騷千萬、お藤さん、あんたは大層な御氣張でござるのう。アハハハ」

とさつて案内の男は行つてしまつた。

座敷の眞中に緋毛氈の敷臺が置いてある。寒し暑いのに雨戸も閉て切つて閉めてあるので、ひどく空氣が臭い。家の中は靜寂として人の聲もしたい。

どうしたのか民次郎はさつぱり姿を見せない。お藤はジリ〳〵して來た。胸が天井を衝き始める。不氣味でもあるし、何んとなく不安になつて來た。

「暫く御待遠さまでございました」

旅館の屋敷と聞いてお藤は安心した。それに手紙は民次郎の手蹟に相違なく、間違ひのありさうな屋敷ではないから、

「それでは直ぐ出掛けますから」

と、支度もそこ〳〵に迎ひの駕籠に乘つて我家を出た。

トップリ日は暮れてゐる。屋敷に掛けてある掛行に雨がバラ〳〵當つて音がする。國國機を渡り、本所割下水。

とある屋敷の中へ、駕籠は這ひれて、

「御到着、御ゆりでした」

と、女中が出た。

駕籠から出された處は内玄關で、二疊敷いた男が取次ぎに出て來た。

「私は、米津の家内でございますが、主人は當家へ參つて居りませうか」

「米津さんの御新造ですか、先刻からお待ち兼ねです。どうぞお通り下さいまし」

と、お藤を奥へ連れて行つた。

旅本屋敷には違ひないが、此の頃の騷ぎで家族は領地へでも逃げてしまつたものと見えて家内同然で人が住んでゐる樣子もない。十二疊の立派な座敷へ入ると、

「これでお待ち下さい」

「暫く御待遠さまでございました」

旅館の屋敷と聞いてお藤は安心した。それに手紙は民次郎の手蹟に相違なく、間違ひのありさうな屋敷ではないから、

「それでは直ぐ出掛けますから」

と、支度もそこ〳〵に迎ひの駕籠に乘つて我家を出た。

トップリ日は暮れてゐる。屋敷に掛けてある掛行に雨がバラ〳〵當つて音がする。國國機を渡り、本所割下水。

とある屋敷の中へ、駕籠は這ひれて、

「御到着、御ゆりでした」

と、女中が出た。

駕籠から出された處は内玄關で、二疊敷いた男が取次ぎに出て來た。

「私は、米津の家内でございますが、主人は當家へ參つて居りませうか」

「米津さんの御新造ですか、先刻からお待ち兼ねです。どうぞお通り下さいまし」

と、お藤を奥へ連れて行つた。

旅本屋敷には違ひないが、此の頃の騷ぎで家族は領地へでも逃げてしまつたものと見えて家内同然で人が住んでゐる樣子もない。十二疊の立派な座敷へ入ると、

「これでお待ち下さい」

國際映畫合戰に

外務省が對策委員會

日本映畫の優秀映畫化を目的とする映畫法は目下衆議院において審議されてゐるが映畫の國際的、宣傳力等について大きな關心を持つ外務省ではこの法案の實現に協力する一つの方法として製作映畫の檢閱を經め上演禁止處分を與へる權限等の映畫國策に關する委員會を外務當局を中心にして結成した。それに手紙は民次郎の手蹟に相違なく、間違ひのありさうな屋敷ではないから、

「それでは直ぐ出掛けますから」

と、支度もそこ〳〵に迎ひの駕籠に乘つて我家を出た。

トップリ日は暮れてゐる。屋敷に掛けてある掛行に雨がバラ〳〵當つて音がする。國國機を渡り、本所割下水。

とある屋敷の中へ、駕籠は這ひれて、

「御到着、御ゆりでした」

と、女中が出た。

駕籠から出された處は内玄關で、二疊敷いた男が取次ぎに出て來た。

「私は、米津の家内でございますが、主人は當家へ參つて居りませうか」

「米津さんの御新造ですか、先刻からお待ち兼ねです。どうぞお通り下さいまし」

と、お藤を奥へ連れて行つた。

旅本屋敷には違ひないが、此の頃の騷ぎで家族は領地へでも逃げてしまつたものと見えて家内同然で人が住んでゐる樣子もない。十二疊の立派な座敷へ入ると、

「これでお待ち下さい」

「暫く御待遠さまでございました」

旅館の屋敷と聞いてお藤は安心

（第二版）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十四年三月十九日（日曜日）　臺灣日日新報　第一万四千十號　A（一）

臺灣日日新報

日本唯一夕刊紙　本社　臺北市榮町一丁目一番地　電話代表五八〇二番　社會部二〇五二番　經濟部二〇五三番　印刷所　臺北市榮町一丁目一番地　電話五八〇三番　定價　一部金八錢　一ヶ月金八十錢　三ヶ月金二圓四十錢　六ヶ月金四圓八十錢　一年金九圓六十錢　廣告料　普通一行十五字詰一日金五十錢　特等地一行金一圓　廣告文ハ別ニ定ム　定價表ハ本紙第二面ニ掲ク

社說

新東亞の建設と南支

輕視ところではない

一

新中國の誕生が、東亞の新秩序建設に、必須不可缺の要件である事は既に屢々述べた所であるが、その新中國の建設に、兩政權の消滅といふ點が、これ亦必須不可缺の要件である事も既に屢々述べた所である。併しながら、然らば將政權さへ消滅しさへすれば、新中國が出來上るかと言へば、それは決して然らざるであつて、事態は左樣に簡單ではないのである。現在日本に與へられた大きな問題は新東亞建設の重要な要件たる新中國の建設であり、此の二點を以つて、東亞の新秩序建設の重要な要件であるが、その二點の中でも、新中國の建設こそは最も重要なる問題である。

併しその新中國の建設には支那のみを考へてゐたのでは決して解決が出來るものではない。といふ事を改めて說明するまでもあるまいが。

二

東亞の天地に東洋人の理想に基く新秩序の實現を妨礙せんとする歐米諸國の中には、衰退明瞭、各種各樣の方法手段を以つて、その實現に障碍を試みつゝあるものがある。軍需資材の供給、法幣の維持、借款の供與、現在に於ける抗日テロの鎭壓等々、此の點に關しては既に屢々述べた所であるが、日本の現在の國力は、到底これ等の要求を滿すだけの餘裕がないのである。日本は現在支那の國力を培養する爲には、日本の國力を犧牲にしても、支那の爲に盡さなければならぬ義務があるが、今度の國交の場合に於ても、吾人は此點の說明を好きなる諸兄の諒解する所を以つて滿足するのであつて、北支そのものに何等期待する所は無いのである。と斷言してゐたのと同切で、それ等のデマは、それから後に現れて來た日本の實際的施策に依つて次々に粉碎されたのであるが、今度の國交の場合に於ても、吾人は此種の說、東亞に新秩序の確立する事を好まざる諸兄の諒解する此處のデマが、東亞の新秩序建設に邁進する日本の理想と熱意と實力と、從つて實際的施策の前に當面粉碎するであらう事を信じて疑はぬものである。且つ斯くあらしめなければならぬと主張するものである。

三

新中國　延いては新東亞の建設の上に南支が持つ重要性は、ただ單に思想的に、政治的に重要が從來から全支の上に持つてゐた、その重要性の外に、日本の南進國策上に於ける、日本の南支に對する經濟的關係の上に於ける、國防上に於ける、從來史上に於ける、從來の經緯もあり、東亞の新秩序の確立もあり、日本は現在の國力を以つてしては、到底これ等の要求を滿すだけの餘裕がないのであるが、北支のものに何等期待する所は無いのであると、

上海への輸出貿易
通關に關する指針……(上)

本島と中支の門戸たる上海との貿易は着實に増進を示してゐるが、上海税關通關事務をスムースに運ぶ爲には輸出入業者の原則として左の諸點に就ての知識が必要とも云ふべきである、尚港内輸送に關する諸點の取扱に於ても同樣の注意を拂ふべきである

一、船積書類

(A)何人宛に發行するか(B)送荷證券(C)送狀作成年月日(D)積出港(E)マーク及び包裝の種類(F)荷印、分類(G)單位價額(H)數量(I)總價額(J)積出人の署名

(A)の荷受人宛は指圖人宛とするを普通とする、(B)の送狀は船名(B)出帆期日(C)マーク及び包裝の種類(D)積出港(E)荷印、分類(F)單位價額(G)數量(H)總價額(I)積出人の署名等を記載するを要する

(C)の送狀作成年月日は船積書類中最も重要なもので、通關上の基準となるものであるから、船積書類の作成に當つては送狀作成の日附を遡らせる樣なことがあつてはならない

二、船積書類の作成

(A)何人宛に作成するか(B)送狀番號(C)船名(D)積出港(E)荷印、分類(F)單位價額(G)數量(H)總價額(I)積出人の署名等を記載するを要する

(A)の荷受人宛は指圖人宛とするを普通とする、(B)の送狀は船名(B)出帆期日(C)マーク及び包裝の種類

生徒の頁

北二師小學師範部の普通科入試問題

國民精神と德性に關する試問（五十分）

一、我が國民が國につくして最も尊い點を擧げなさい
二、あなた方はいろ〳〵の恩を受けてゐます。その中で主な恩を順にあげなさい
三、次のやうな時どんな心得が大切ですか
（イ）道を歩く時
（ロ）汽車や船に乘り降りする時
（ハ）食事をする時
四、支那事變が起つたからあなたはどんな方法で御奉公をしてゐますか

國史（一時間）

一、元寇の御際文武について次の問に答へなさい
（イ）何時時執權となりましたか
（ロ）どんなお心掛でお下しになりましたか
二、明治維新以前我が國最大の外患にかかやかした人柄（二つを年代順に書きなさい）
三、儒學について次の問に答へなさい
（イ）どんな學問か
（ロ）誰が武斷政治に利用したか
四、左について知つてゐることを書きなさい
（イ）楠公
（ロ）菅原道眞

國語第一時（一時間）

一、左ノ文中ニ線ノアルカタカナニ當ル漢字ヲ書キナサイ
正シイ北方ノ天ヲ習ヒオボエテヰルト「ヘイセイ」ノ和歌ヲ詠ミ得ラレル心境ヲ養ヒ、正午ノ音ヲ聽クノニモ「ヘイセイ」ト心ヲ配リ

南風の歌 (63)

（第十回）

加藤武雄作
富田千秋画

花信（23）

「ここでは薪が出来ないわ――」

「でも、私のところへ寄つて――」

「冬の日曜日の色は見せたが、自動車を駆つて寄せて置いてから、幸子の後についてアパートの階段をのぼつて行つた。

「ニーニーこんなところにるのかい」

といふ感じで、幸吉は部屋を見廻すやうにしたが、自分の前にうなだれてゐる幸子の姿に見ました。その眼には優しい表情があつた。幸子は勢ひ疲れ易い自の化粧も少し崩れて居た。着てゐるものも――けれ――しかつた。あの消息た処女の匂ひといふものは失はれ、即の何かがそれについてゐた。

「ここに――で何をしてるんだい？」

「働いてるのよ」

幸子は半ば口の中で答へた。

「働いてるのか」

「ダンサー――」

「ダイフライター」とかいふものをやつてゐるのか」

「いいえ――」

「何をしてゐるんだ」

「――」

「女給か――なさけねえ事になつたもんだ」

と、幸吉は深い溜息に暫時の間

で重たつて居るらしい。

探偵は五米以上に及ぶものもあるさうで探偵は実検会社である、記者も動

龍烟、大同の近況

炭層の厚さは實に五米餘

（中）

農學博士　住江金之

龍烟の炭さは今やつて居る処が一米七五で優に人が立つてかがれるし、傾斜は僅に五度ぐらゐであるから殿堂を建しるにも苦労らくである、現在が最も五尺位の処

めらるるまでに入坑して調べた事には内地の炭坑では安全ランプを用して坑入つても時々瓦斯爆発などがあり人命にも危険が大災害を来すのであるが、此処ではカンテラの裸火をかげて坑入るのである、修りの設備さへ完全であれば聞いて居ると此処は全く瓦斯が出ないので大丈夫です、下の方ではストーブを焚いて居るといふ、成程、たことには暖房の為めで外気が入つて寒い処にはカンストーブを焚いて居る、聞いただけでは暖しい気がしないが事実此の通りである。

×

もつと驚く事が一つある、それは坑木が殆ど使つてないことである、之も内地の炭坑では坑木の松丸太類が随分沢山入るもので可なり十分に坑木の支柱を入れても時々落盤があつて人命を損ずるのであるが此処では坑道の大部分に坑木の支柱を入れても時々落盤があつて人命を損ずるのであるが此処では坑道の大部分に坑木の支柱を入れてゐない、之は坑木の松丸太類が随分沢山入るもので可なり十

全島民の待望する 民雄の百キロ局

中空の偉容 鐵塔二基は既に完成

【嘉義電話】嘉義郡民雄百キロ放送局は既報の如く嘉義郡民雄に工事を急いでいるが二〇米突鐵塔二基は三月の中旬に完成し愈々竣工する筈であるが之れに伴ひ臺灣放送協會嘉義支部では之れを機會として放送協會の宣傳を兼ねて大々的に竣工祝賀會を開催する事となり目下其の準備中であるが其の日取は三月廿五日の豫定で當日は午前十時より午後四時迄は民雄小學校に於て祝賀會を開催し午後四時終了と同時に大日本帝國萬歳を三唱し鐵塔麓に設けられた放送局に於て祝賀會を開催し午後七時より實況放送を行ふ豫定で當日は山下參謀、大石部長の祝辭等もあり午後四時より六時迄は民雄小學校

風土の匂ひ

(下)

和田傳

酒肴は大體である、とでつたなく大きいのである、だからかと、むしろ馬鹿々々しいほどの大きなうねりで關野はひろがつてゐる、關野に点々と立つる小高い山も、近寄つてみるとこれも馬鹿々々しいほどの嶺を引いてゐるのである、かういふ大地に移民は生活を營んでゐる、その生活と精神を文學として描くためには、在來のやうばけた觀察や手法では間に合はぬどうしても考へられる、文學の郷土的性格など、所謂農國のものでしかないし、新しい大きな日本の農民的な農民の性格を描く爲にはんなけちな觀察をはぶり捨てねばならぬともいはれる、一體それに當つてゐるのである、然し文學の發展度は現實のそれと歩調を一にしてはゐない、また大體の農民には單獨の農民であるが、それはまた日本の農民であり、それは相當の長野や福島や北海道の農民でもあるのだ、彼等の悩みや希望や樂しみや喜びや生活感情を、どことなくまで理解するためには、その根底である日本の、相當の農民の本性に觸じなければならないのである、まして、内地農村の、將來の發展を考へるとそれで文學が、ひとりびに大體の生活を再現し得るものではない

「農民文學」といふ小説を讀んだが、非常的な美しさもふくらみもあり、農民多くの様相の中に、ほんとうの農民文學はこの飛躍發展に伴つて大陸を描かねばなるまい、ま

相のあらましに描けてゐるが、然し其根本の農民の魂は描けてゐないのである、この作品が、ひとり樂しめても食足りないのはそのためである

農民文學はこの飛躍發展に伴つて大陸を描かねばなるまい、ま

詩"蜩の挽歌"

あゝあゝと郎子の袖に入日して
吾はかなしき流離の詩人

木皿哲

1

かな。かな。かな。かなかな。
夕日の彼方。翔りゆく秋の挽歌。
いつ迄僕の胸から遥さかり
僕の淡明なフリズ・レンズに画
の反映の顫れる頃——。

ひつそりと。僕の膝に縋つてく
る影。かなしく貧い生活の尾
を曳きずりながら。一日。疲れ
きつた僕の胸に悲しい追憶を打じ
て。とぼとぼと。とぼとぼと。
かな。聴つてくる蜩よ。

に。僕を廣くして、一地方の外
のの現実にも眼を注ぐことが必要で
ある、いろいろの地方を見、また
大體を見ることは、郷土の本性を
更に照り返して見ることでもある
のだ、様々の農民の様々の現象を
探つて描くのも、この意味で、わ
れわれの新しい出發のための訓練
である

小山いさをの「潮口」といふ新
世帯を描いたが、風景も勿論も、

2

かな。かなかな。かな。かな。
郎く悼むいた郎子自に。その
声の微にひびいてくるあたり。
しんしんと春色を漲へた空の向
ふ。失つた戀話の斷片々々が一
つひとつ甦つてくる。

だまつて眼をつぶるとそれら
凡ては、永劫間を音く音く過ぎ
り。やがて僕の額は白く。聞が
無氣味に流れ始める——。

(唐詩集より)

試驗

筆隆きがは

改嫁

本島人の間に今尚改嫁と云ふ事は一旦男に嫁して其の妻となつた女子が、甲男と乙男との契約に依り、甲男との夫婦關係を解消して、更に乙男の妻となることであつて、右女子の意思などは問ふ所ではない。而かも此の間に營業とする媒介人が介在する。右の場合、甲は乙より右女子の身價金の殘額が不履行だとして損害賠償不履行を原因とする金を受取るのである。先般右身價金の殘額が不履行だとして損害賠償不履行を原因とする訴訟を發した（民法第五百四十一條）實例を見たが、本島人の風俗習慣を改善することの如何に前途遼遠であるかを、深く感じた。

姉齒松平

雁

伊藤永之介氏著

生活文學選集(2)

名作「鰺」以來文と農漁物の描寫を調和して文壇に獨自の境地を拓きつつある著者が、新たに「生活文學選集」の第二冊として書きおろした長篇である、おそらくこれは著者にとつて最初の書きおろしものであらう、氏が自ら「農漁物」と称して發表してきた數つかの短篇では、都會と違つた獨特の發展の技法が、都會の人々に異つた作用を及ぼし、そこに見出だと言つてよい程顯著に展開されたのであるが、それは觀察も短篇といふ限られた枠體の形式に於てであつて、長篇となればそこに又別個の約束なり技法なりが存在する、氏が永い間の堅實な努力によつて築り當てた得意の語法もこの長篇に於ては通用し難いであらう、いづれにしろ伊藤氏のこの長篇「雁」は今迄の農漁物の總決算であると同時に長篇作家としての著者の將來性が計量さるべき小説である、この点だけでも極めて興味ある作品と言へよう

主人公はトミといふ娘である、トミは「近所の幼な友だちからはじめてトミの名前を言ふものなどは二人、三人の親しい仲の、娘たちの外は一人もなく、誰でも彼でも「ミツさん」と呼び捨てるに「ほどに醜の悪い娘であつた、その上トミは父無し兒と言はれてゐた、事實トミは今から二十年前に岸のイヨが薬園へ働

きに行つてゐる間にそこの工場主との間に出來た子であつた、母は村に歸つてトミを産み落すと直ぐ車で村に來てゐた鶴所着の現在の亭主と駈け落ちしてしまつた、トミはそれから伯父伯母の家を轉々とミズエに育てられて來たのだつたトミに優しくしてくれるのは姐の東四郎と年太郎ぐらいで、あとは若だけである、しかしその年太郎も加代といふ百姓には珍らしいすつきりした若者の娘を娶してゐた、或る日この不幸なトミと都會生活の華やかさに憧れてゐた加代とは諫合せて二人の女中生活の辛さを語り合ふのであつた、だが彼女達として感得から出發する數万人の女中の内の一人ではない、女中として同じ女中二人は女中として同じ女中生活の辛さを語り合ふのであつた、だが彼女達として感得から出發する數万人の女中の内の一人ではない、

"臺灣護國神社"愈よ新年度から創立

二ケ年繼續で完成の豫定

新年度豫算の公布と共に愈よ臺灣に於ても護國神社が新に造營せられることになるが、其の費用は總豫算が二十万円、創立準備費が一万円合計二十二万円で、此の內千円だけが十四年度豫算面に現はれ十五年度に十万円を支出し二ケ年で完成といふことになつて居る、招魂社といふ名前は全國的に護國神社と改まりの折から内務省令に依り公布されること

になつて居るので、本島のそれも"台湾護國神社"として"名乘り"が上げられる、其の位置は台北市近郊の平地で境内が約二万坪の廣さに亘るべく、建築樣式は木造流れ造りと内定して居る、その祭神として奉祀される者"となつて居るので、既に東京九段の靖國神社に奉祀されて居る明治以來今日に至るまでの台湾關係者の神靈約二万柱を始め、今次の支那事變に於ける戰歿者の神靈も合祀せらるべく、其の社格は內地と同樣新社格で、その神職も文教局

直轄の

ものとして之に準じ任命せられるであらう、新年度早々祭神に就て臨時臨時の下に神祇院なる調査と取扱ひる為め、文教局内に職員が增置せらるべくである

一方に於て神社の位置と共に愈よ台湾神社が新に造營せられることになるが、其の費用は總豫算が二十万円、創立準備費が一万円合計二十二万円で、此の內千円だけが十四年度豫算面に現はれ十五年度に十万円を支出し二ケ年で完成といふことになつて居る、招魂社といふ名前は全國的に護國神社と改まりの折から近く內務省令に依り公布されること

名乘り

が上げられる、其の位置は台北市近郊の平地で境內が約二万坪の廣さに亘るべく、建築樣式は木造流れ造りと內定して居る、その祭神として奉祀される者"となつて居るので、既に東京九段の靖國神社に奉祀されて居る明治以來今日に至るまでの台湾關係者の神靈約二万柱を始め、今次の支那事變に於ける戰歿者の神靈も合祀せらるべく、其の社格は內地と同樣新社格で、その神職も文教局

直轄の

ものとして之に準じ任命せられるであらう、新年度早々祭神に就て臨時臨時の下に神祇院なる調査と取扱ひる為め、文教局內に職員が增置せらるべくである

總動員法十九條は惡地主にとつて可成りの痛ごと

惡家主や惡地主にはお出來ない

無暗の値上げは出來ない

【東京十八日發本社特電】十七日の中央物價小委員會に於いて今後物價抑制の强化を圖る爲め總動員法第十九條を發動する事に決したが、十九條が一時にドヤ〳〵出るものか、逐次順を追つて日の目を見るのかこれは何ぢつりとしたが何れにせよこの發動は國民生活に莫大な影響を持つ事は免れないこの十九條の內最も注目されるのは家賃、地代だ、今まで家賃、地代の抑制にはこれを

取締る

法律がないため昨年中央物價委員會の決議として家賃、地代は極上せぬ樣にと云ふ樣な事で曖昧な引揚りを示したけで家賃をきめに處で何うにも出來なかつたのだが、"十九條"は當然家賃、地代の値上げを禁止し、從つて家賃、地代は昨年の儘に凍結されることになる譯だ、次には價格の問題だ、目下の處では商工省の

定めた

公定價格を守らない業者への罰則は臨時資金調整法の關係上一年以下の懲役、五千円以下の罰金が課せられる事になるので惡德人大衆には正に天來の福音とな

早大

待たるゝ春のリーグ戦(下)

さて優勝は何處！

打力の早、赤根谷の法

期待される帝の健闘

秋の陣容は何處にかつかり氣をよくして早大は此の春に臨んでをかけてゐる筈だが何せい高須、呉、秘田の三投手と片岡、白川を欠いたすので苦しい打力の落ちる事は否めない事實だが、これをどの程度にとどめるかが問題である。投手陣に若干の動搖のなかつた事は早大にとつて何程の幸と云ふべきだが、秋リーグから新く油の乘つて來た石黒が加つた事は上述の通りであり、あの堅心さを期待して今季は石黒が組むものと思はれるが、ここに大きく望み得るものは此の冬から春に一轉向して猛練習を續けてゐると云ふ小柳のピッチングである。

ドし他はそのまゝの顔觸れだからなんとも補ひのつかぬものではあるまい、ただ打順に於ける關岡、竹内の二番、六番は大きいから、それよりも問題は投手陣だが依然として過言でない。赤根谷の左肩が昨秋シーズンの後半に示した程な破力を持ちつづけるなら、又慶の如く今季の國體に一も二もなく推すべきだが、これに有望な新人が何人出現するかゞ問題だ。

法政

一世の名手關岡を欠いた内野陣は寂しい事は寂しいが實來の田代を後へ據ゑて新主將桐澤主將リーダーシップを發揮して内野陣の整備に努めてゐる。

佐藤を適當に配して破壁を法政投手陣も相當なものである、要は關岡に代る新人何人がどこまで食ひ止め、主將關岡、吉田、田川、鈴木、伊藤それに起用されれば一應の打撃陣の構築がこゝまで容易を待ち受けて行けるかが問題だ

帝大

主將今中と最後の中心であつた野村を缺く帝大は、昨年度春の心を重ねて最化が今一歩と云ふ點だけに緊張であらうが、由谷監督の好調がなんと云つても心強い、今中に代つて北野が入り他は二塁打以代つて青柳が入り他は前通り外野少しも動かうと云ふ布陣である、投手の何台も眼る元氣の出でゐるからこれ等を統率する小島部長の手腕一つで成り行き面白い試合を見せて呉れる筈だらう。

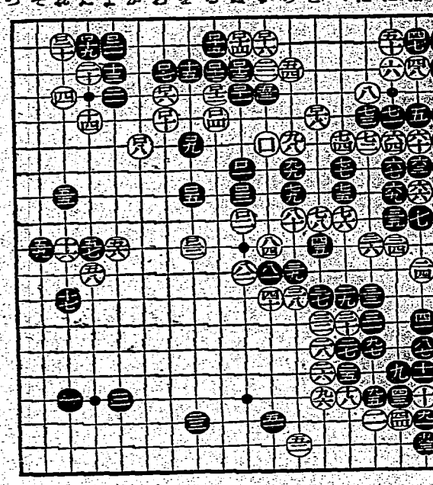
何れにしてもあと一月足らず、ファンを煽しから、選手もドにも差が明て入場式を待つてゐる訳り眠である訳り。

（寫眞は早大の練習）

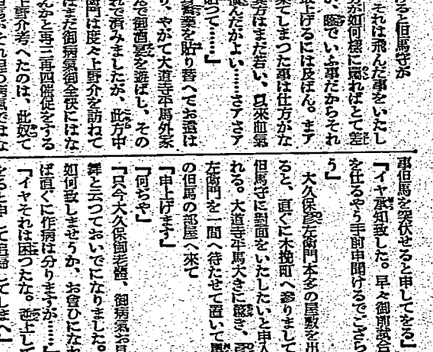
選抜圍碁リーグ戰（第二局）

本社主催

四段　鷲頭信恭
二段　先矢益義



白八一、八四と黒單の猛撃を受けて封鎖した格好となつて苦しい。



囲碁記　稻澤克忠

ヘルシンキ五輪大會
全競技日程決る (下)
七月廿日から十六日間

【十月三十一日(火)】
△開會式　即十一時、後八時、(メインスタヂアム)
△ファンシング(ウニステンド)サーベル、個人、團體豫選午前九時▲サーベル、團體準決勝　後五時
△水泳(水上競技場)女子高飛込▲女子四百米自由形豫選▲千五百米自由形豫選▲水球豫選　後五時
△籠球　即八時(主競技場)

【十一月一日(水)】
△籠球　午後六時(主競技場)
△馬術　即八時(馬術競技場)綜合馬術(障碍飛越)　即八時、後一時
△籠球　午後八時(主競技場)

【十一月二日(木)】
△馬術　即八時(馬術競技場)綜合馬術(馬場馬術)即八時、後一時、(障碍飛越)即八時、後二時
△フェンシング　午前九時(ウニステンド)サーベル團體準決勝　後七時(ウニステンド)サーベル團體決勝▲水泳(水上競技場)男子高飛込▲女子高飛込▲三百米平泳豫選▲女子四百米自由形豫選▲千五百米自由形決勝▲男子高飛込▲水球　後五時
△籠球　正午、後八時(メッス(リ)
△團體豫選午後二時半(體操競技場)
△體操決勝午後七時(主競技場)

【十一月三日(金)】
△水泳(水上競技場)男子高飛込▲女子高飛込▲水球前九時▲女子高飛込▲三百米平泳決勝▲女子四百米自由形決勝▲千五百米自由形決勝▲男子高飛込▲水球　後五時
△籠球　正午、後八時(メッス(リ)
△團體豫選午後二時半(體操競技場)
△體操決勝午後七時(主競技場)

【十一月四日(土)】
△フェンシング(ウニステンド)サーベル、個人、決勝前九時▲サーベル團體決勝　後八時
△籠球　正午、後八時(メッス(リ)
△馬術　午後一時(主競技場)綜合馬術(障碍飛越)
△一般祭典午後八時(主競技場)

【十一月五日(日)】
△籠球　正午(メッス(リ)
△馬術　午後一時(主競技場)大障碍飛越(最終競技)
△閉會式　午後八時(主競技場)

女子四百米自由形準決勝▲水球　即九時▲二百米平泳準決勝▲千五百米平泳決勝▲自由形決勝▲女子四百米競泳決勝▲水球　後五時
△籠球　正午、後八時(メッス(リ)
△體操　三段決定競技　七時(主競技場)

【十一月一日(水)】
△馬術　即八時(メリー)綜合馬術(馬場馬術)

【十一月二日(木)】
△フェンシング(ウニステンド)サーベル、個人、團體　即九時、後一時
△水泳(水上競技場)男子高飛込
△籠球　即十一時、後八時、(メッス(リ)
△馬術　即八時(馬場馬術)綜合馬術(馬場馬術)即八時、後一時、(障碍飛越)即八時、後二時
△フェンシング(ウニステンド)サーベル、個人、決勝前九時▲サーベル個人、決勝後八時
△籠球　正午、後八時(メッス(リ)
△馬術　午後一時(主競技場)綜合馬術(障碍飛越)

【十一月四日(日)】
△籠球　正午(メッス(リ)
△馬術　午後一時(主競技場)大障碍飛越(最終競技)
△閉會式　午後八時(主競技場)

優勝馬の馬主に總督楯を授與
一般から圖案を募集

馬産奨励の聖旨を以て本年度馬上り、新設馬單勝馬連走の優勝馬の馬主に對し左記要項により總督楯を授與することとなつた、この楯は名譽ある總督賞の影響圖案は一般より左の要項により懸賞募集することとなつた、尚今後馬に對してはその他の者より優勝旗、カップ等授與されることがあるかも知れぬが馬主に總督楯に限られるものである、本年のトップを切つて行はれた高總督馬の第一回總督賞の榮譽者は法の通り決定したが同氏は馬産奨励及び競馬者であり濱然にもこの榮譽を獲得したものである

馬主　新竹州竹南郡
馬名　タマヒカリ號　騸牡五歳四氏
配合　三光、タイム二分十七秒
農會賞授與榮譽
農會賞は新竹州馬(甲)優勝競走に於ける一着馬(同牝の場合を除く)の馬主に授與す
二、農會賞は次期競馬第一日に之を交渡せしめ、記念品を授與す
三、第一項の記錄は總督賞影響圖入を行はず別に記錄保存の爲へ之に記錄し表彰賞牌を授與す

總督楯影響圖案要項

一、圖案は新竹州馬(甲)優勝競走に於ける一着馬(同牝の場合を除く)の馬主に授與す
二、圖案は次期競馬第一日に之を交渡せしめ、記念品を授與す
三、第一項の記錄は總督賞影響圖入を行はず別に記錄保存の爲へ之に記錄し表彰賞牌を授與す

體協理事會

【東京十八日發同盟】十七日の體協理事會では日獨文化協定實施につき鈴木滿洲大蹴主事より申入を諒承として協議した結果今夏滿手團を送つて滿洲において開かれる全國競技會に參加することに就ては全面的に援助を與明する事とし具體的な交渉及び費用問題は目下打合中

蹴球豫選會

【東京十八日發同盟】十七日の蹴球豫選會は日滿文化協定實施記念として十八日午前十時より神宮外苑競技場に於て開催する筈であつたが、豫定の如く小雨決行の筈であつたが、豫定の如く小雨決行の筈であつたが、豫定の如く小雨決行の